

大鳥圭介没後 100 年を活かした地域づくり

兵庫県 上郡町 産業振興課 ○木村将志
赤松校区むらづくり推進委員会 委員長 山本忠孝
大鳥圭介公生誕地保存会 会長 小林登喜夫

1. 活動方針・目的

兵庫県赤穂郡上郡町赤松地区は、南北朝時代の播磨の武将「赤松円心」の郷として多くの文化財を残し、白旗城跡の国指定から約 20 年間「白旗城まつり」を開催してきた。さらに、もう一人の偉人、幕末から明治にかけて国の近代化に貢献した「大鳥圭介」の生誕地が存在している。2011 年 6 月に大鳥圭介没後 100 年を迎えるにあたり、地区住民は町と協働で、生誕地を保存し、郷土の偉人を再顕彰し情報発信してきた。

2. 活動内容

没後 100 年の節目に向ける旗揚げとなったフォーラム開催後、兵庫県の県民交流広場事業の活用と募金をつのり、「大鳥圭介生誕地」に「いきいき交流ふるさと館」を建立。

町と協働で「圭介まつり」や「大鳥圭介の書展」「歴史ハイキング」を実施するとともに、地元小学生の社会学習として「圭介塾」の実施や「ふれあい喫茶」を定期的を開催することで、全国から圭介ファンが訪れ情報交換を図ることができるようになった。さらに、町では宝くじ助成を受け、約 100 名のボランティアによるアニメ「けいすけじゃ」（全 20 話）を完成させ、2011 年より順次 CATV「えんしんネット」において放映した。

3. 他の活動団体の参考となる事例

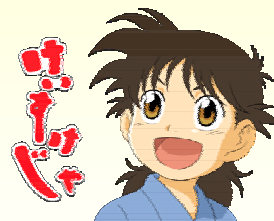
地元から町への老朽化した生家の再建要請が、没後 100 年を認識する結果となった。地域が誇れる人物として「大鳥圭介」にスポットをあてインターネットで情報発信することで、全国の歴史ファンが生誕地を訪れるようになり交流の輪が広がることで、地域は徐々に活気づいてきた。また、大鳥圭介の生涯を紹介するアニメ制作には、地元出身のアニメーターが指揮監督を担い、ボランティアスタッフをホームページで募集したところ、絵心のある主婦や中学、高校の美術部の生徒、また声優として神戸の専門学校や学生や地元自治会の協力を得ることができ、本格的なアニメが完成した。このことから、「地域の人材も大切な資源である」と実感できた。

4. 今後の課題等

少子化が著しい赤松地区では、今年（2012 年）春に、地域内の小学校・幼稚園が統廃合により無くなることとなる。今後も、子どもたちには地域の歴史や郷土の偉人に興味を持ち、これを誇りとして次世代に伝承してもらいたい。また、高齢化も進んでいることから草刈りなどの出仕事や祭り事なども徐々に実施困難な状況になってきている集落もあるため、地域内外との広域交流を促進しながら活性化を図っていきたい。

大鳥圭介没後100年を 活用した地域づくり

ひょうごけん あこうぐん かみごおりちよう
兵庫県赤穂郡上郡町



赤松校区むらづくり推進委員会

1

赤松地区の紹介



2

赤松地区の紹介



生駒山より赤松小学校を望む 平成24年1月

3

赤松の地域資源について

あかまつえんしん 赤松円心

赤松円心とは
鎌倉時代から南北朝時代の武将で、播磨守護大名。

関連施設

- ・法雲寺(円心堂、ビャクシン杉)
- ・宝林寺(円心館があり赤松三尊像など史料収集・展示)
- ・白旗城跡(国指定史跡)

イベント

- ・白旗城まつり



おおとりけいすけ 大鳥圭介

大鳥圭介とは
幕末から明治時代に、日本の近代化に貢献した技術官僚。

関連施設

- ・いきいき交流ふるさと館
(史料の収集展示、ふれあい喫茶や圭介塾の開催)

イベント

- ・圭介まつり



4

白旗城まつり



白旗城まつりでお披露目した手作りよろい・かぶと

5

赤松円心ゆかりの地



国指定史跡 白旗城跡



法雲寺 ジャクシン
(県指定天然記念物)



宝雲寺 円心館

6

大鳥圭介没後100年に向けた取組



大鳥圭介銅像(役場前)



大鳥圭介生家跡



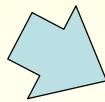
男爵大鳥圭介生誕之地の記念碑

7

生まれ変わった生家跡



大鳥圭介生家跡



いきいき交流ふるさと館

8

圭介塾の様様

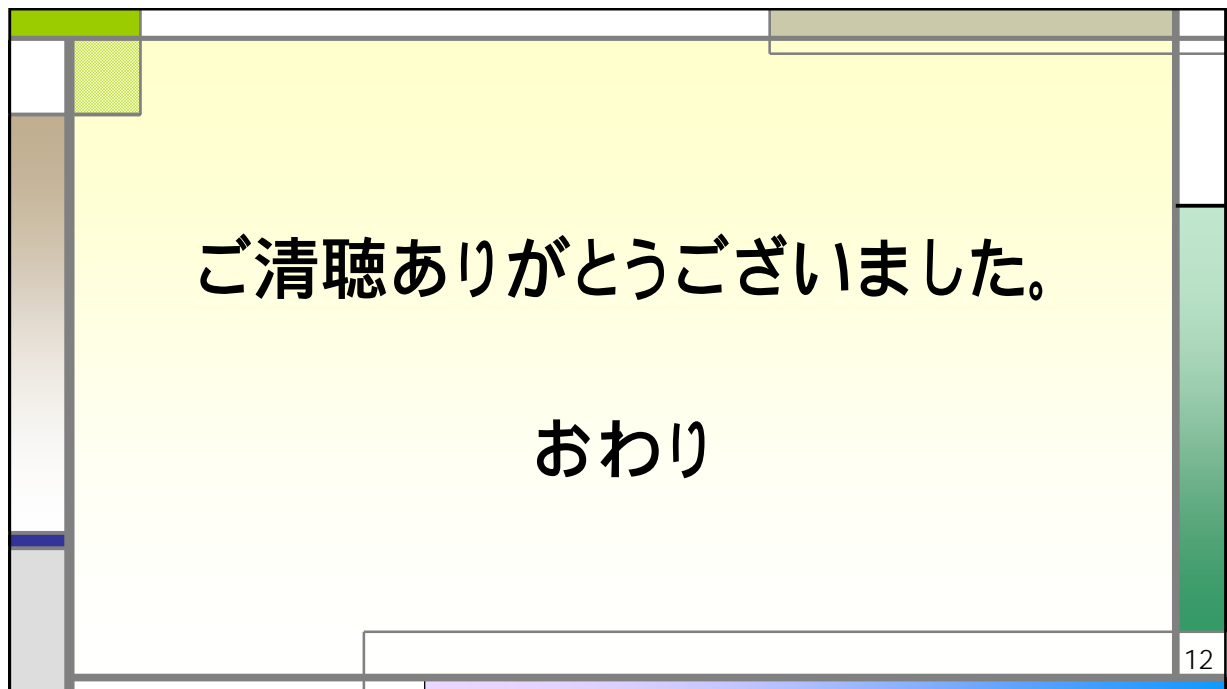
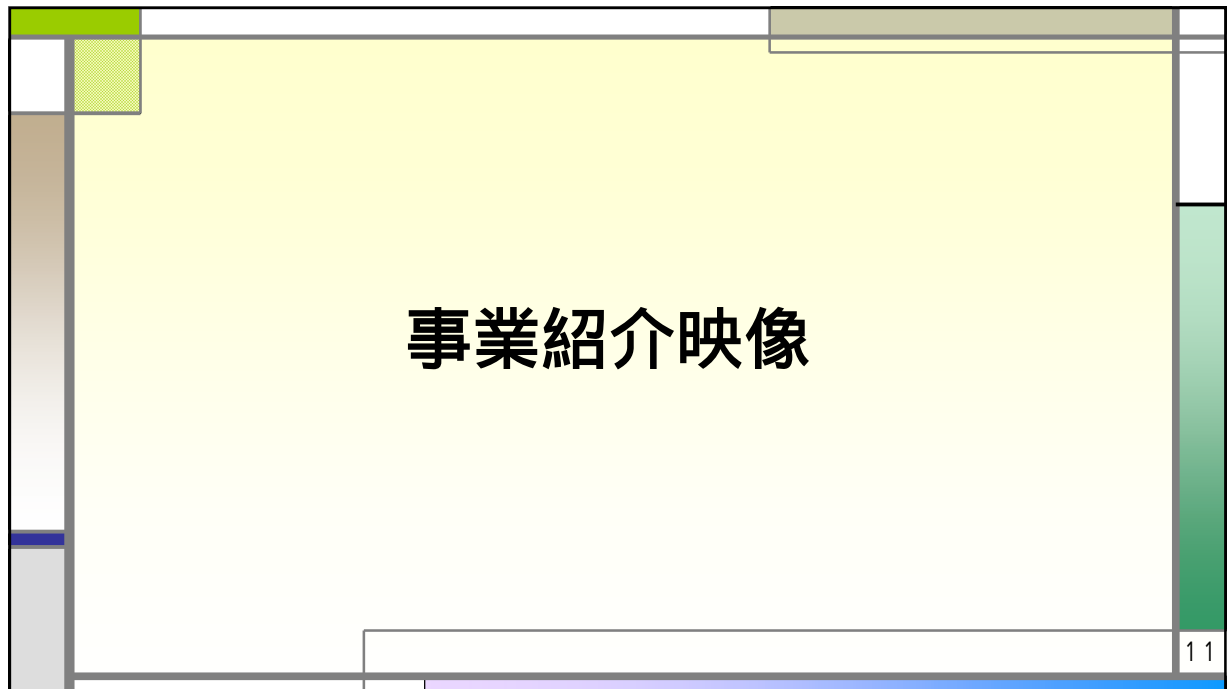


9

圭介まつりの様様




10




参考資料1

赤松円心




1277年に、赤穂に生まれた赤松円心。天皇側の勢力である新田義貞軍6万人が、50日間にわたって白旗城を攻めたが、攻めきれず赤松円心が勝利。
赤松円心の活躍によって、足利尊氏とともに、室町幕府の樹立に貢献しました。
数々の戦で手柄を立てた赤松円心は、室町幕府の重臣となり、播磨守護職に任命されました。




13

参考資料2

大鳥圭介



1832年に、赤松石戸の医者の子に生まれた大鳥圭介。幼いころより学問に秀でていた大鳥圭介は、海外の書物を多数翻訳。欧米のあらゆる工場の情報を持ち帰るなど、教育・産業面で日本の近代化に大きく貢献しました。



14